



2018年の行方

代表取締役
榊原 弘之



あけましておめでとうございます。「お金に困らない未来のために!」私たちにできること、それは保険や証券といったカテゴリーに捉われず、金融商品の専門家としてお客様に寄り添うこと。お客様と一緒に資産形成をしていくこと。そんな想いを形にした「みらいのお金クリニック」。「お金のかかりつけ医」と銘打ち、「相談」を軸とした新しいコンサルティングの形は、多くの方々に周知されてきたように思います。これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝いたしております。

さて、多くのお客様からお預かりをしている「みらい」へ向けた資産形成。2018年の世界経済の行方は?米国株の史上最高値更新に引きずられるように日経平均株価も2万円台を約20年ぶりに回復しました。IMF(国際通貨基金)も世界経済は腰折れすることなく、順調に成長していくという見通しを堅持しているようです。2018年の世界経済の成長率見通しも3.6%まで高まると予測しており、2016年から2年連続で世界経済の拡大は継続するだろうと考えているわけです。

2008年のリーマンショックから今年でちょうど10年。この10年間で世界的な金融緩和を通して、先進国・新興国を問わず世界中の国々で債務が増えすぎてしまっている事実をどう考えるべきか。米国でも欧州でも日本でも量的緩和により莫大な負債を抱えている状況です。とくに我が国日本では未曾有のペースで負債の膨張が進んでいます。相も変わらず毎年40兆円程度の新発国債が発行され続けているのです。長く続いた超低金利により、国家の借金依存症を改めることができなくなっているのです。世界全体の負債総額は152兆ドルにまで膨らみ、世界のGDP合計の2.3倍になってしまっています。先進国、新興国、途上国のいずれもが国家として債務を増やしている状況です。まさに借金バブルの10年だったと言えるのではないのでしょうか?しかし、例外なくバブルは弾けるといふことです。

2018年以降は借金バブルの反動で厳しい局面が訪れる可能性もあります。こうした世界経済の波の中でより賢く資産形成をするコツ、こんなことをマネーセミナーなどではお話しをしています。大切なことは「長期であること」・「タイミングを分散すること」。世界経済の波を活用した「長期分散投資資産形成法」。弊社が信念を持ちお客様に推奨し

ている理由は、皆様の明るい「みらい」を築くためです。お金にまつわる相談はどんなに仲の良いご友人でもしにくいもの。より充実した「ライフプラン・リタイアメントプラン」実現のために、お金のかかりつけ医として身近な存在でありたいと思っております。戌年の2018年が皆様にとってワンダフルな一年でありますよう心より祈念申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。



知れば知るほど! ナルホド金融経済 重要イベントの多い一年に

ファイナンシャルプランナー
松下 新



皆様あけましておめでとうございます。昨年は異色のトランプ大統領が就任し、そのアメリカと北朝鮮によるミサイルに明け暮れた一年となりました。また、フランスでマクロン大統領が誕生、中国は習近平体制が固まるなど政治的話題に豊富な一年でした。今年もロシアをはじめメキシコやブラジルで大統領選があり、秋にはトランプ政権の先行きを占う中間選挙と世界に影響を与える選挙が目白押しです。国内においては9月に自民党の総裁選、12月に沖縄県知事選と続き、経済面では日銀の黒田総裁の任期が切れます。今年のイベントを確認しておきましょう。

- 1月 積立てNISAスタート
- 2月 イエレンFRB議長任期満了
平昌オリンピック
- 3月 ロシア大統領選挙
- 4月 日銀の黒田総裁任期満了
- 6月 サッカーワールドカップロシア大会
G7(カナダ)
- 7月 メキシコ、カンボジアで大統領選挙
- 9月 自民党総裁選
東京築地市場が豊洲へ移転?
- 10月 ブラジル大統領選挙
- 11月 アメリカ中間選挙
- 12月 沖縄県知事選挙
アメリカがユネスコから脱退

1月から積立てNISAがスタートします。これで個人型確定拠出年金 (iDeCo) と共に消費者には貯蓄に対する選択肢がまた一つ増えます。長期分散投資を推進する金融庁が満を持して導入を決めた積立てNISAですが、問題はそれを利用する消費者がいかに関心を持った商品(銘柄)を選ぶかにつきます。間違っても金融機関の「おすすめ商品」に惑わされずに、自分の目的に合った商



品を選んでもらいたいものです。

2月にはアメリカの金融の舵取りを行うFRBの議長がイエレンからパウエルに代わります(予定)。恐らくイエレンのバランスシート縮小(緩やかな利上げ)政策を継続するものと思われますが、トランプ大統領の息がかかっているところが少し気になると思います。

3月のロシア大統領選はプーチン現大統領が対抗馬を作らせず、いわば独裁政治を行っているためサプライズはまずないでしょう。

4月に任期満了となる日銀の黒田総裁も後任人事が全く進んでおらず、アベノミクスを推進してきた黒田氏の続投となることが濃厚とみえています。

7月にはメキシコとカンボジアで大統領選挙がありますが、メキシコは北米自由貿易協定(NAFTA) に与える影響が大きく、無視できません。また、カンボジアもASEANの重要な参加国として注目されます。

9月には自民党の総裁選が行われますが、石破、小泉両氏が出てこない限り本命は安倍首相で決まりでしょうね。

注目は11月のアメリカ中間選挙です。共和党が多数を占める議会もトランプ大統領の偏った振る舞いが民主党を復活させる原動力となるか。今年最大の注目イベントです。

最後に世界経済に与える影響が大きいイベントをまとめておきます。アメリカの法人税改革の海外現法からの現金本国還流はドル買いニーズを起こすため大注目です(ドル高要因)。ドイツ連邦議会の再選挙の可能性は、現メルケル体制に政治的空白が生まれるとEU不安となり気になります(ユーロ安、ドル高要因)。また、サウジアラビア国営のアラムコによる上場(予定)は世界中の証券取引所に熾烈な獲得競争を起こします。上場後、サウジアラビアは保有するアラムコ株を最大5%売却することを検討しており、投資家はアラムコ株を買うために手持ちの株を処分して購入代金に充てると大量の株が売られるため、一時的に世界的な株安局面となる可能性があります。さらに、上場により潤沢なキャッシュがサウジアラビアに舞い込んできた場合、原油価格を減産などで高値維持する必要もなくなり、原油価格の下落となるため大変注目されます(資源国通貨安要因)。

どんな一年となるか、楽しみです。

今年は我が家をパワースポットに!

ファイナンシャルプランナー
深川 恵理子



明けましておめでとうございます。

お正月には、家族揃って神社やお寺に初詣にいらしたのではないのでしょうか。

朝に夕に隅々まで掃除し、掃き清められたお寺や神社に行くと、その清々しさに背筋がピンと伸び、「今年も元気で頑張ろう!」という気持ちになりますね。

最近、パワースポット巡りで伊勢神宮や出雲大社など遠くまでいらっしゃる方も増えてきました。お詣りすることで心も整い、日頃の疲れもリセットされ、元氣も湧いてきます。

今年は、ご自宅をそんな清々しい空間にしてみませんか? 多くの方のマネー相談をしていますと、お金の悩みと同じくらい部屋が片付かないとおっしゃる方が多いです。実は、家の中を片付けると、どんなものが家にあるか把握でき、無駄な買物が減ります。スッキリした気持ちになり、ストレス解消の買物や衝動買いも減ります。そして、その結果、自然とお金も貯まりだします。さらに、ご家族も気分よく過ごせ、自然と仲良く暮らせます。家の中をきれいに片付けるといいこと尽くめなのです。

きれいにする方法はたくさんありますが、私はこんなことをしています。



1. 朝起きたら窓を開け、ベッドや布団を整える。
2. 毎日、トイレ掃除をする。
3. 使った物は、そのつど元の場所に戻す。
4. 脱いだ靴やスリッパは揃える。
5. 花を飾り、鏡を磨く。
6. 冷蔵庫の中は把握できる量にとどめる。
7. スーパーに行くときは買物メモを持参する。
8. 毎晩、お財布の中のものを出し、お札の向きを揃えて入れる。

いかがでしたでしょうか? ぜひ今年は、ご自宅をパワースポットにして下さいね。きっと、貯蓄も増え始めます!

温めて健康

クラーク
川合 美絵



冬になると特にひどくなる「冷え性」。男性はもちろん、特に女性の方に多いのではないのでしょうか。放っておくと頭痛や肩こり、腰痛などの症状につながってしまう可能性があります。

冷え性には様々な原因がありますが、その一つに筋力

の低下があります。心臓から全身に血液が送り出されますが、その血液を再び心臓に送り返すポンプの様な役割をしている筋力が低下してしまうと、血流が悪くなり冷え性につながります。特に下半身は重力に逆らって戻す必要があるため、「第二の心臓」と呼ばれる「ふくらはぎ」に柔軟性と筋力をつけることが大切です。

他にもストレスなどにより自律神経のバランスが崩れてしまい体温調整が上手くいなくなることや、身体を冷やす飲食物(緑茶など)を摂りすぎてしまうことも冷え性の原因としてあげられます。

まだ運動をされていない方は是非、運動習慣を取り入れることで筋力を鍛え、ストレス発散をして冷え性知らずな身体を目指してみてくださいね。身体を温める飲み物としては生姜紅茶もオススメです。



平成30年度の税制改革“配偶者控除”

ファイナンシャルプランナー
堤 太郎



あけましておめでとうございます。皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることが出来ました。本年もより一層お引き立ての程宜しくお願い致します。

新年1回目のニュースレターとなりますが、今回は今年度より改正される税制改正についてお伝えいたします。昨年度ニュースでもたびたび取り上げられ話題となったのが“配偶者控除”の見直しです。今回は昨年までの制度と今年から適用される新制度を比較してみましょう。まず昨年までの制度ですと妻の年収が103万円以下なら、夫は“配偶者控除”として38万円の所得控除を受けることが出来ました。妻の所得が103万円を超えると夫が受ける控除は“配偶者控除”から“配偶者特別控除”へ変わり控除額は妻の年収が141万円以上になるまで段階的に減少します。妻が仕事をすると、妻が仕事をすると、“配偶者控除”を考慮して年収が103万円を超えないように調整する。これが長年「103万円の壁」と言われていた所以ですね。

では今年度より適用される新制度ではどう変わのでしょうか。まず改正のポイントは以下の2つです。

まず所得控除額38万円の対象となる配偶者の年収の上限が103万円から150万円に引き上げられます。“配偶者控除”の対象となる妻の年収はこれまでと同じですが、“配偶者特別控除”は拡大。妻の年収が103万円超で150万円以下なら夫は“配偶者特別控除”として38万円の所得控除が受けられます。(ただし夫の年収が1120万円以下の場合に限られます)では新たに

「150万円の壁」ができるかということそうではありません。仮に妻の年収が150万円を超えても妻の年収が201万円を超えるまで“配偶者特別控除”は適用されます。(控除額は38万円から段階的に減少)

加えて納税者本人の所得に応じて控除額が減少、もしくは消失します。“配偶者特別控除”の対象となる妻の年収の上限は引き上げられますが、控除額は適用される納税者本人の所得により変わるという事になります。例えば夫の年収が1120万円以下の場合38万円～3万円、夫の年収が1170万円以下なら26万円～2万円、夫の年収が1220万円以下なら13万円～1万円の範囲で“配偶者特別控除”が受けられます。仮に夫の収入が1220万円を超えると“配偶者控除”も“配偶者特別控除”も受けられなくなります。

これまで38万円の配偶者控除を受ける為、年収額を調整されていた方も多いでしょう。これまでは妻の年収により控除額が算定されていました。しかし今年からは新たに夫の年収も含め段階的に控除額が変化します。よりお得に控除枠を使う場合は双方の収入を加味して考える事が必要ですね。

今回の税制改正は女性の就労意欲の向上により家計の収入を増やすという目的に追い風となる改正と言えます。家計の収入が増えることでライフプラン上の選択肢も増やすことができます。「130万円の壁」や「106万円の壁」と呼ばれる「社会保険上の壁」はいまだ残ったままですがこちらも早急に改善されると良いですね。

2018年からの配偶者控除・配偶者特別控除(カッコ内の収入は給与収入のみの場合)

控除の種類	世帯主の合計所得(年収)				控除の種類	世帯主の合計所得(年収)				
	900万円 (1120万円 以下)	950万円以下 (1170万円 以下)	1000万円以下 (1220万円 以下)	1000万円超 (1220万円超)		配偶者特別控除	900万円 (1120万円 以下)	950万円以下 (1170万円 以下)	1000万円以下 (1220万円 以下)	1000万円超 (1220万円超)
配偶者控除					配偶者の合計所得	85万円以下(150万円以下)	38万円	26万円	13万円	—
控除対象配偶者	38万円	26万円	13万円	—		90万円以下(155万円以下)	36万円	24万円	12万円	—
老人控除対象配偶者(70歳以上)	48万円	32万円	16万円	—		95万円以下(160万円以下)	31万円	21万円	11万円	—
						100万円以下(166万7999円以下)	26万円	18万円	9万円	—
						105万円以下(175万1999円以下)	21万円	14万円	7万円	—
						110万円以下(183万1999円以下)	16万円	11万円	6万円	—
						115万円以下(190万3999円以下)	11万円	8万円	4万円	—
						120万円以下(197万1999円以下)	6万円	4万円	2万円	—
						123万円以下(201万5999円以下)	3万円	2万円	1万円	—
						123万円超(201万6000円以下)	—	—	—	—

差出人・連絡先

アルシアコンサルティング株式会社

〒251-0023 神奈川県藤沢市鶴沼花沢町2-3 PHビル2階
TEL: 0466-54-8417 <https://www.arxia.jp/>

掲載内容等に関するお問い合わせは各担当営業まで。
禁無断転載 Copyright Two Way Communications Inc.